

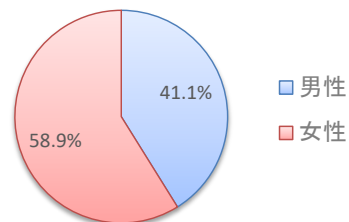
令和2年度 鹿屋市市政モニター 第2回アンケート結果

○テーマ：鹿屋市の畜産臭気について

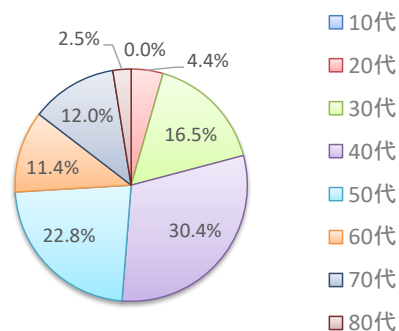
○調査期間：令和2年7月6日（月）～令和2年8月31日（月）

○回収結果：送付数：200人、回答数158人、回答率79%

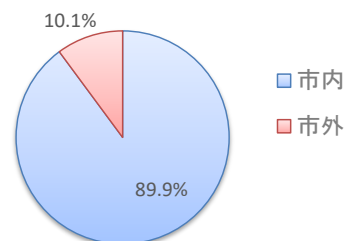
性別	件数	割合
男性	65	41.1%
女性	93	58.9%
合計	158	100.0%



年代	件数	割合
10代	0	0.0%
20代	7	4.4%
30代	26	16.5%
40代	48	30.4%
50代	36	22.8%
60代	18	11.4%
70代	19	12.0%
80代	4	2.5%
合計	158	100.0%



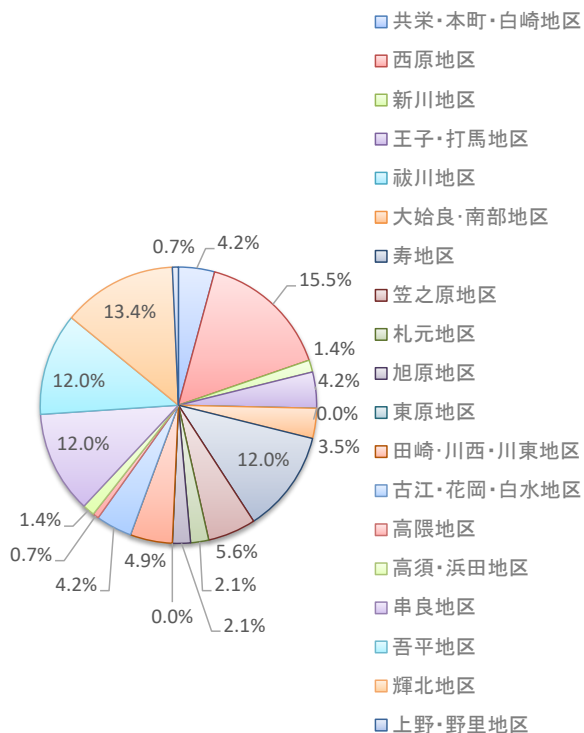
居住地	件数	割合
市内	142	89.9%
市外	16	10.1%
合計	158	100.0%



【鹿屋市内にお住まいの方のみ対象（Q1からQ12まで）】

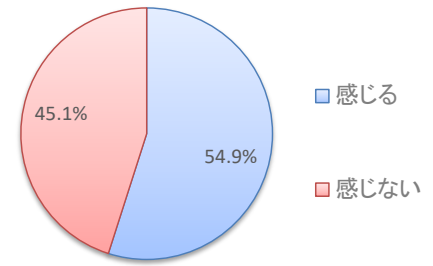
Q1:お住まいの地区についてお答えください。

回答	件数	割合
共栄・本町・白崎地区	6	4.2%
西原地区	22	15.5%
新川地区	2	1.4%
王子・打馬地区	6	4.2%
祓川地区	0	0.0%
大始良・南部地区	5	3.5%
寿地区	17	12.0%
笠之原地区	8	5.6%
札元地区	3	2.1%
旭原地区	3	2.1%
東原地区	0	0.0%
田崎・川西・川東地区	7	4.9%
古江・花岡・白水地区	6	4.2%
高隈地区	1	0.7%
高須・浜田地区	2	1.4%
串良地区	17	12.0%
吾平地区	17	12.0%
輝北地区	19	13.4%
上野・野里地区	1	0.7%
合計	142	100.0%



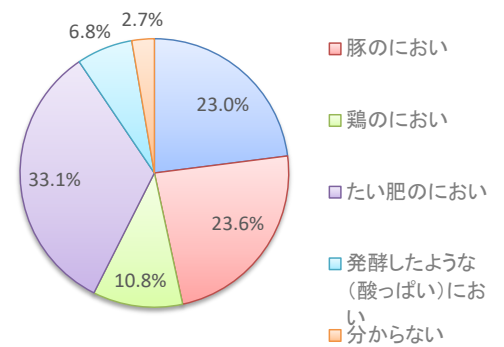
Q2:お住まいの地域で、畜産（牛・豚・鶏・たい肥等）のにおいを感じますか。

回答	件数	割合
感じる	78	54.9%
感じない	64	45.1%
合計	142	100.0%



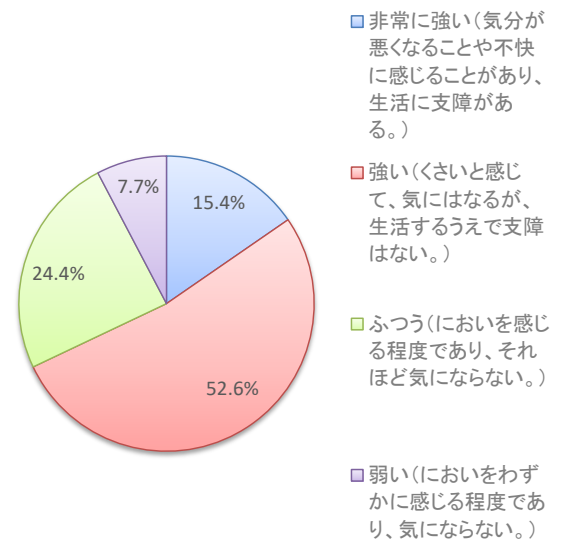
Q3:畜産のにおいは、どの種類のにおいですか。（複数回答有）

回答	件数	割合
牛のにおい	34	23.0%
豚のにおい	35	23.6%
鶏のにおい	16	10.8%
たい肥のにおい	49	33.1%
発酵したような（酸っぱい）におい	10	6.8%
分からない	4	2.7%
合計	148	100.0%



Q4:畜産のにおいは、どの程度感じますか。

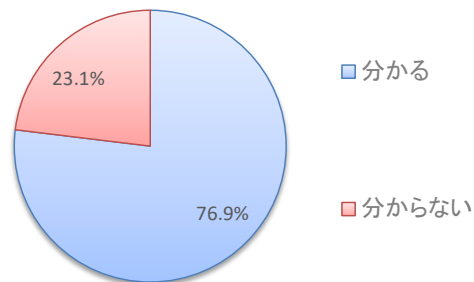
回答	件数	割合
非常に強い（気分が悪くなることや不快に感じることもあり、生活に支障がある。）	12	15.4%
強い（くさいと感じて、気にはなるが、生活するうえで支障はない。）	41	52.6%
ふつう（においを感じる程度であり、それほど気にならない。）	19	24.4%
弱い（においをわずかに感じる程度であり、気にならない。）	6	7.7%
合計	78	100.0%



Q5:畜産のにおいの発生元は、分かりますか。

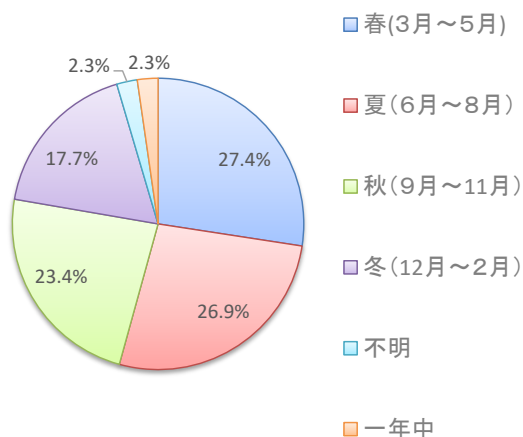
回答	件数	割合
分かる	60	76.9%
分からない	18	23.1%
合計	78	100.0%

- 【具体的に】
- ・牛糞を運搬中に道路にこぼしていくため
 - ・畜産運搬車が道路を通過する度臭う。
 - ・生ふん尿をそのままローリーで畑にまかれると不快です。
 - ・堆肥や焼酎かすを散布
 - ・近くに牛舎や豚舎、鶏舎、畑がある。
 - ・近くに畜産農場があり、飼料作物を作るため、生堆肥が撒かれる。
 - ・近くに農高がある
 - ・近くに畑があり、堆肥のにおいが4日～5日します。
 - ・近くに畑があり、特に雨の降る前になると堆肥が撒かれ、数日間放置されたままとっている。
 - ・近くに畑があり、生ごみ堆肥が撒かれる
 - ・畜産農場があり時間も考えず（昼食時）堆肥の持ち出し
 - ・バイパス方面の畜産から
 - ・雨の日に肝属川にふん尿を流しているようなにおいがする。
 - ・はっきり分からない。日による



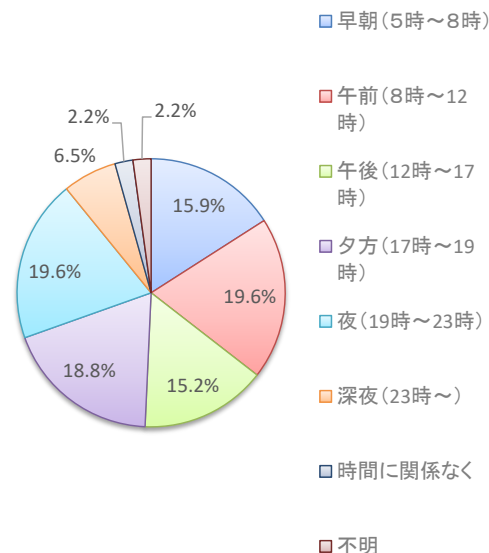
Q6:畜産のにおいを感じる季節は、いつですか。（複数回答有）

回答	件数	割合
春(3月～5月)	48	27.4%
夏(6月～8月)	47	26.9%
秋(9月～11月)	41	23.4%
冬(12月～2月)	31	17.7%
不明	4	2.3%
一年中	4	2.3%
合計	175	100.0%



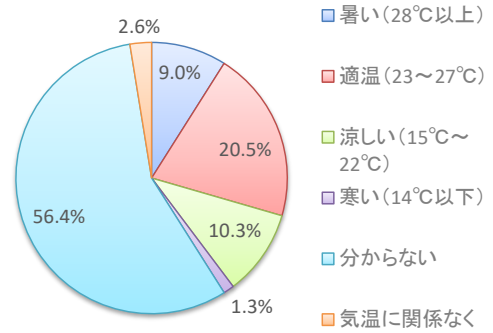
Q7:畜産のにおいを感じる時間帯は、何時ごろですか。（複数回答有）

回答	件数	割合
早朝(5時～8時)	22	15.9%
午前(8時～12時)	27	19.6%
午後(12時～17時)	21	15.2%
夕方(17時～19時)	26	18.8%
夜(19時～23時)	27	19.6%
深夜(23時～)	9	6.5%
時間に関係なく	3	2.2%
不明	3	2.2%
合計	138	100.0%



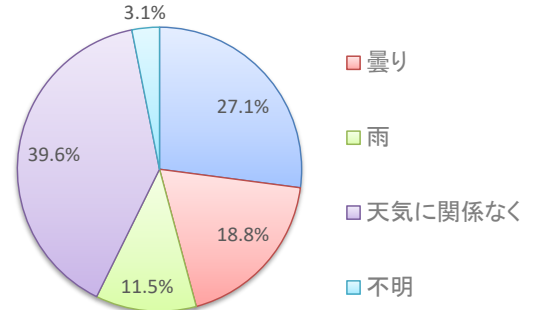
Q8:畜産のにおいを感じる時の気温はおおむね何度くらいですか。

回答	件数	割合
暑い (28℃以上)	7	9.0%
適温 (23～27℃)	16	20.5%
涼しい (15℃～22℃)	8	10.3%
寒い (14℃以下)	1	1.3%
分からない	44	56.4%
気温に関係なく	2	2.6%
合計	78	100.0%



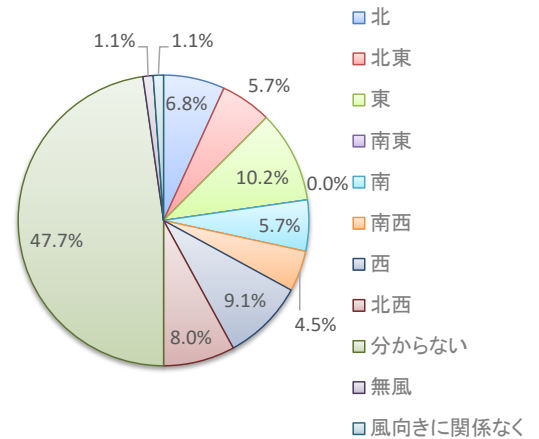
Q9:畜産のにおいを感じる時の天候は何ですか。(複数回答有)

回答	件数	割合
晴れ	26	27.1%
曇り	18	18.8%
雨	11	11.5%
天気に関係なく	38	39.6%
不明	3	3.1%
合計	96	100.0%



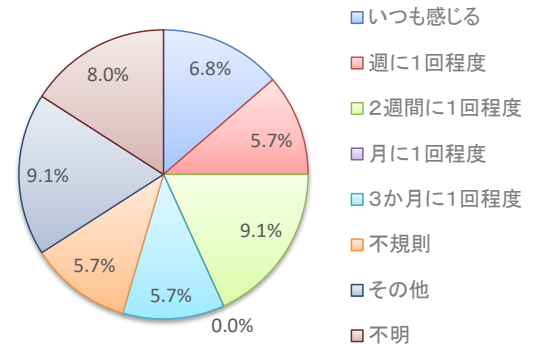
Q10:畜産のにおいを感じる時の風向きは何ですか。(複数回答有)

回答	件数	割合
北	6	6.8%
北東	5	5.7%
東	9	10.2%
南東	0	0.0%
南	5	5.7%
南西	4	4.5%
西	8	9.1%
北西	7	8.0%
分からない	42	47.7%
無風	1	1.1%
風向きに関係なく	1	1.1%
合計	88	100.0%



Q11:畜産のにおいを感じるひん度はどれくらいですか。(複数回答有)

回答	件数	割合
いつも感じる	6	6.8%
週に1回程度	5	5.7%
2週間に1回程度	8	9.1%
月に1回程度	0	0.0%
3か月に1回程度	5	5.7%
不規則	5	5.7%
その他	8	9.1%
不明	7	8.0%
合計	44	50.0%



Q12: 畜産のにおいを減らすためにどのような取組が効果的だと思いますか。(主なもの)

(取組みについて)
・畜産農家への個別指導
・パトロールの強化、罰則を厳しくする、取り締まりの強化
・消臭資材の配布。配布だけでなく使用しているかの確認。
・畜産業の方を集めて、現状を把握してもらう。
・当事者は、堆肥を野積みしたままにせず早めに攪拌する等の処置。特にハエの発生防止に努めてほしい。
・ふん尿の早期分離や搬出、清掃の励行。餌の腐敗を防ぐ。床を乾いた状態に保つ。定期的に見回り、点検、指導を行う。
・畜産農家さんに餌の工夫を指導してほしい。EM菌、土着菌の活用を以前に聞いたことがあります。
・警察等と連携して取り締まる方法も考えるべき。
・パトロールの強化の為に、町内会等へパトロール代行を頼むことを検討していただければ。
・堆肥を道路にこぼさないように指導してほしい
・畑に堆肥を散布した場合の対処方法等を書面で配布したらどうか。
・関係事業者との話し合い、共同研究、先進事業者に学ぶなど。
・できるだけふん尿を撒かないようにする。大型の処理場を作って処理、加工できれば良いと思いますが、経済的負担が大きいですね。
・強い悪臭が発生した場合は、スマホアプリから通報できるようにして不適切なふん尿処理がなくなるように指導して頂きたい。
・消臭設備に対する助成、臭気レベルの測定と公表
・住宅地域から移動する。その費用を市が負担。
・畜舎の設置基準に住宅地とは一定の距離を規定する。
・関係機関等で畜産農家へ完熟たい肥化の指導や生ふん尿の散布を止めてもらうような地道な啓発活動を行い、地域と畜産農家が共存し、悪臭の無い生活がおくれることが必要。以前、畜産のにおいを消臭するために木酢液を畜産農家に配布した時期がありました。消臭効果のあるようなものや堆肥化を促進するような菌等を検討されて見られたらどうでしょうか。
・畜産されている家に数か所行ったことがあります。悪臭の所としない所がありました。訳を聞いてみたら飼料にバクテリア等を混ぜて食べさせていたり飼育場がとてもきれいに管理されていました。また、一方はそのお宅の近くに行くとお臭がとても不快でした。排せつ物が臭わない様な勉強会等を浸透する迄、やる方向にもって行ってほしいです。
(畜産のにおいに対する意見)
・鹿屋は臭いと言われるのがとても嫌です。
・くさくて窓も開けられない。洗濯物も干せない。においがつく。
・消臭対策の補助金事業などは実施されていることと思いますが、それでも金曜日の夕方になるとにおいが街中に漂うのは行政が舐められているのかなと思ってしまいました。交通や買い物の便利が多少整ってきても週末に訪れてこのニオイでは鹿屋に住んでみようかなという気にならないと思います。
・小さい頃から感じていたので、特に規制する必要はない。においがする日は洗濯物を外に出さない等こちら側が対処すると思っていた。
・畜産農家さんから言うと消臭資材など少々もらっても追いつかないのでは。設備するにも資金が大分掛かるので、個人負担は難しいのでは。街以外で畜産で生活している以上農家さんの立場上少々は、仕方ないと思う。園芸農家もたい肥散布必要だと思うが周りも理解するべき所もあるんじゃないでしょうか。
・どのような取組が効果があるかはわかりませんが、慣れてしまえばそんなに不快ではないです。鹿屋は第1次産業が根差している地域なので、地域特有のことであるという理解を広めることが第一ではないでしょうか。
・畜産も大事な産業なので共存も大事と思います。
・悪臭は仕方無いとは思っていたが、来客を連れて飲みに出た際は、恥ずかしい思いをしている。公害クラスであり鹿屋の恥だと思っている。もし臭いの元凶がルールに反したものだとしたら厳しく取り締まって欲しい。畜産が鹿屋の重要な産業であるのは認めているし、誇りにも思うがそれと悪臭は別問題だと思う。悪臭を出さないガイドラインを作成して欲しい。立ち入り調査や行政指導にもっと力を入れてほしい。仕方が無いとか当たり前という感覚がもうおかしいと思う。
・どんな方法があるのか知りません。みなさんお仕事ですので、あまりきびしく思うことはありません。また、そのお仕事により生活を支えられていますので、お仕事がしにくくなることは結果、自分たちが困ると思います。しかしながら、花見の季節(平和公園)の臭気は祭りどころではありませんね。毒ガスのようです。
(その他)
・畜産の臭いもだが、牛舎で出た草を燃やした時のにおいが独特で臭い。パトロールを強化した方がいいと思う。
・においというかハエが気になります。時期によってですが、ハエがとても増えます。

【鹿屋市外にお住まいの方のみ対象（Q13）】

Q13:畜産のにおいを減らすためにどのような取組が効果的だと思いますか。また、お住まいの地域で、においを減らすための取組事例などありましたら、御記入ください。（主なもの）

<p>（取組について）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・畜産場の周囲に、においを減らすための防護壁を取り付ける。 ・臭いを拡散させない脱臭装置等の設置 ・清掃や換気。消臭資材や家畜に害のない芳香剤（コーヒーの粉など） ・志布志や東串良なども畜産農家はあるが臭いはしない。調査したらいいと思う。 ・畜産農家への指導（研修）。苦情、相談はできる範囲で話を聞いて対応。 ・定期的なチェックと近隣住民への理解を求めることが必要ではないかと思ひます。ただ、説明するだけでは理解が難しいと思ひますので、PM2.5の数値を可視化したように畜産の臭いについても観測ポイントを設けて数値のレベル毎に色分けし、地図上に現在の状況を表示して、住民へ情報を公開するとか。そうすることで、住民へ臭いに関して認知してもらい、理解頂きやすくなるのではないかと思ひます。住居購入にあたって事前に確認いただくことで、その後のトラブルが減るかもしれません。 ・畜産の臭気を減らすための取組例として、消臭資材の配布、パトロール強化などを挙げていらっしやいますが、当の本人たち（畜産業者）はどのように考へているか、調査されることも必要かと思ひます。こちらがいくら臭い臭いと言っても本人たちが臭いと思ひていなければ、どうにもならず。それとも臭いけど臭気資材を買う金がないのか。もらっても資材を使用するのが面倒くさいのか。使用するのに残業を余儀なくされ、また金がかかるから使用しないのか。いろいろ理由がありそうです。各々、真意は違はず。もし一斉に資材を配るのでしたら、それが使用されているか確認ぐらいは必要かと思ひます。税金です。 ・どの国でも畜産臭の問題はあると思ひますのでいちばん畜産臭のトラブルが少ない・トラブルが減ったという国をお手本にしてみても良さそうだと思ひました。 ・通行者に対しては注意喚起、不法投棄に対しては頻繁なパトロールが有効ではないであろうか。 ・減らす取組みとしてはその場所と住居の距離を確保するしかないと思ひます。
<p>（畜産のにおいに対する意見）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・帰省の度に、家畜や肥料の臭いで戻ってきたなと感じているので、悪臭と感じたことがなく驚いています。 ・まず人間が生きていく中で食事が大切なことです。畜産のにおいは避けてはとおれませんが、また、畜産を業として生きていく人たちも沢山います。確かににおいは、日常の生活では避けたいものかもしれません。でも人間の生を支えてくれる畜産を否定してはいけません。このような問題は鹿屋だけではないと思ひますが、昔は、農地、畜産の周囲に家がなかった。ところが、土地が売買され住宅が多く、建てられてきた。この事により、においが問題になっていると思ひます。農地、畜産業と一般住宅地との関係を再考されてもいいかもしれません。パトロールとか畜産業が悪い！みたいと感じてしまいます。近くを通るとにおいはしますが、その人達、豚が居ないと私たちは食べていくことができません。 ・畜産とはもともと臭いものである。そしてそこで働く人がいるからこそお肉が食べられたりするのである。臭いのが基本当たり前である。デンマーク等の映像を用いて現実を教育する事が必要ではないか。当然消臭資材等の配布があれば、好ましいが。食育を通して現実を伝える事を望みます。 ・居住地域に畜産系がない為、答えになるかはわかりませんが、見かけるのは自然に囲まれて営んでいる所があるように思ひます。ただ、畜産者の方がいるからこそ自分たちの生活が成り立つと思へば、特に支障はなかったと思ひます。（・・・3年居住した頃）消臭資材が自然に良くないのであればパトロールの強化が良いかと思ひます。 ・とても難しい問題だと思ひます。畜産業の方々には地域の方への理解をいただくための努力もしないといけないうし、又地域の方も多少受け入れる努力も必要だと思ひます。あとは相互の信頼関係でしょうか。。。消臭資材等があるのであれば、できるだけ自治体は援助して頂けると助かると思ひます。
<p>（地域の取組み事例）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛知県では臭気指数の規制の実施や、GPSデータを活用した臭いの見える化について研究など取組みをしているようです。